

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日	5月 ~22日	5月 ~29日	6月 ~5日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	11	15	37	33	17 (20)	56
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	14	25	37	32	37 (42)	44
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	3	1	4	2	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	4	2	2	6	5	10
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	3	5	3	5	4	6
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	1	0	0	2	0	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	3	2	2	11	11	1
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	0	1	0	1	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第22週(5月30日~6月5日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6	1		2		2		1
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1							1
五類全数	9	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	2							2
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1					1		
		急性脳炎	2					2		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1					
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	1					1		
		破傷風	1					1		

注) 西部 … 大竹市, 廿日市市, 府中市, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東 … 竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部 … 三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部 … 三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第22週 5/30～6/5)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. ヘルパンギーナ

定点当たり1.79人と、前週と比べて約2倍に増加しています。

ヘルパンギーナは、突然の発熱と口の中の水泡を特徴とするウイルス性の疾患で、潜伏期間は2～4日です。乳幼児を中心に、毎年夏季に流行がみられます。

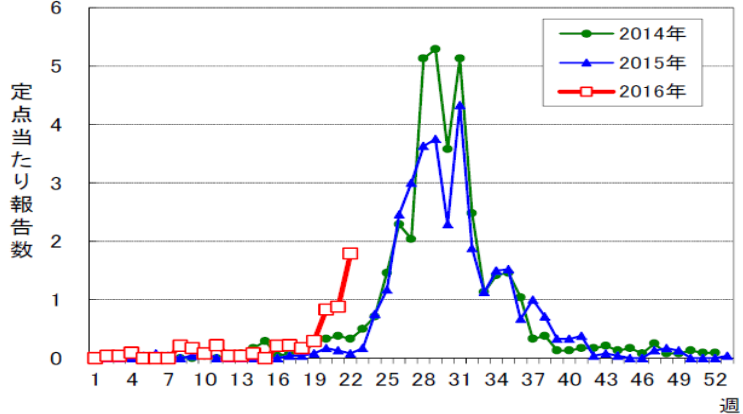
2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.96人と、前週と比べてやや増加しました。感染を広げないようにするには、オムツや吐物の適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

ヘルパンギーナの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減			
														急増減	増減	微増減	
小児科	インフルエンザ	-	-	0.17			小児科	流行性耳下腺炎	22	0.92	0.68			急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.67		⇒	眼科	RSウイルス感染症	7	0.29	0.08			増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	2.71	2.65		⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03			微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減	
	感染性胃腸炎	191	7.96	7.54		⇒		流行性角結膜炎	9	1.29	1.03			横ばい	⇒	ほとんど増減なし	
	水痘	10	0.42	1.23		↘		細菌性髄膜炎	-	-	-						
	手足口病	1	0.04	1.38				無菌性髄膜炎	-	-	0.08						
	伝染性紅斑	21	0.88	0.33		↗		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.23						
	突発性発しん	13	0.54	0.58				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
	百日咳	-	-	0.11				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14							
	ヘルパンギーナ	43	1.79	0.47		↑											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	7
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	63	男性(70歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	7	女性(80歳代)
5	急性脳炎	2	7	男性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・1人
5	後天性免疫不全症候群	1	8	男性(40歳代)・感染者
5	梅毒	1	8	男性(30歳代)
5	破傷風	1	1	男性(70歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱 下気道炎 肺炎	59	男	2016/03/01	気管吸引物	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	4	男	2016/04/20	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の疾患	不詳	0	男	2016/04/20	糞便	アデノウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載